



2023年2月28日

株式会社千葉薬品向け「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2023年2月28日（火）、株式会社千葉薬品（代表取締役社長 八川 昭仁）に対して、「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」を実行しましたのでお知らせします。

ポジティブインパクトファイナンスは、「事業者さまの営業活動」が経済・環境・社会に与えるインパクト（ポジティブ並びにネガティブな影響）を特定し、ネガティブな効果を緩和しながらポジティブな効果を増大させることで、SDGsの達成を目指す融資手法です。

融資検討時に実施する評価は、当行とグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が共同で行い、事業者さまのKPI（目標）設定やその進捗管理を支援します。また、個別案件毎に当行と株式会社ちばぎん総合研究所が共同して実施した評価について、株式会社日本格付研究所より第三者意見^{※1}を取得することで客観性を担保します。

なお、本制度のフレームワークが国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP F I)^{※2}の公表する「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合していることについても、同様に株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

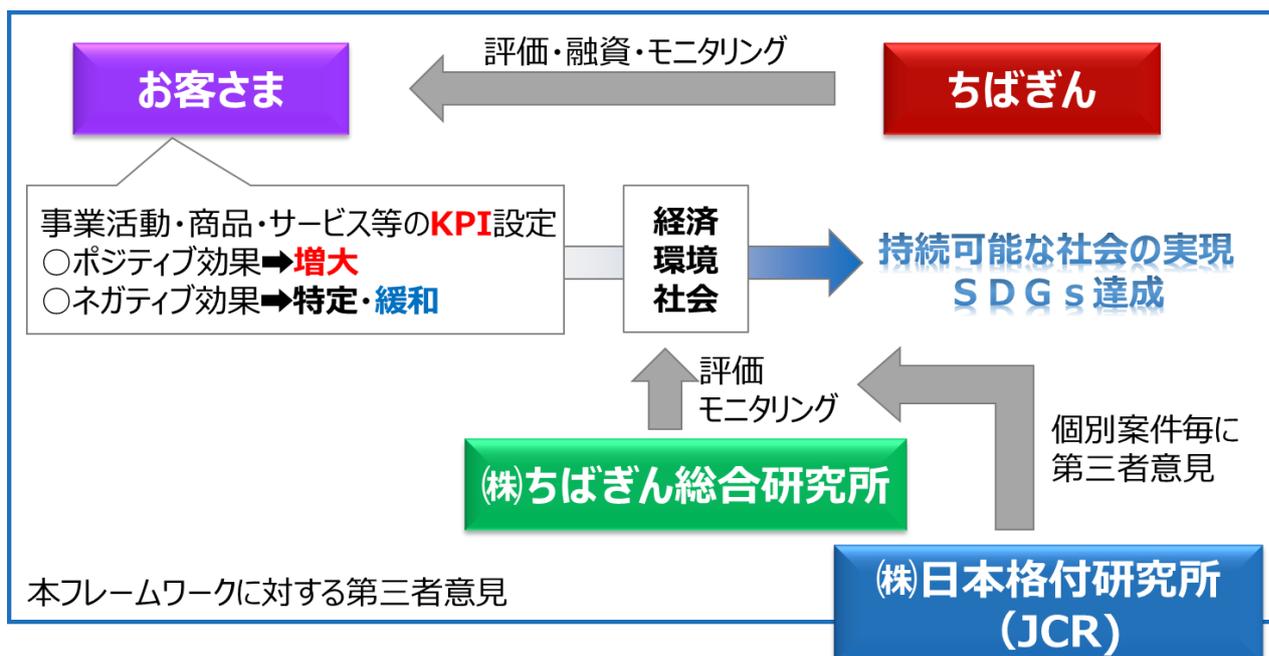
当行は、本制度を通じて、事業者さまのサステナビリティ経営および企業価値向上への貢献を目指すとともに、地域社会のパートナーとして、社会・環境課題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

※1 ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見
株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。 (<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)

※2 国連の補助機関である国連環境計画（UNEP）と金融機関の自主的な協定に基づく組織。

以 上

<スキーム図>



【ちばぎんポジティブインパクトファイナンスの商品概要】

融資対象者	事業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ効果を増大させ、ネガティブ効果を特定・緩和し、SDGsの達成に向けて活動する法人
資金用途	運転資金または設備資金（特定の資金用途に限定しません）
融資金額	100百万円以上
融資利率	当行所定利率
融資期間	原則、3年以上
K P I (目標)	SDGs達成に向け、経済・環境・社会に対する、以下についてKPIを設定していただきます。 (1) 1つ以上の側面でプラスの貢献をすることが分かる指標 (2) 潜在的なマイナスの影響を特定し、緩和することが分かる指標

【株式会社千葉薬品向け「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の概要】

貸 出 先	株式会社千葉薬品			
契 約 締 結 日	2023年2月28日(火)			
融 資 形 態	証書貸付			
融 資 金 額 (使 途)	450 百万円 (運転資金)			
融 資 期 間	5 年			
評 価 内 容	領 域 (テーマ)	取組内容およびK P I (目標)	評価書 参照ページ	関連するSDG s
	環 境 (気候・廃棄物)	<ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度までに全店舗の照明をLED化 ・全店舗へのリサイクルボックスの設置の継続 ・飲料メーカーと連携したペットボトルリサイクルの実施 	19 ページ	  
	社 会 (食料・健康衛生 ・教育・雇用)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動スーパーの運行台数を 2025 年度に 50 台とする ・2023 年度までに①「街のほけん室」をドラッグストア全店舗に配置、②オンライン相談の新サービスを創設 ・介護事業所数を 2025 年度までに 120 ヶ所とする ・パート従業員の 1 店舗あたりの登録販売資格保有者数を 2023 年度に 1.98 名とする ・新卒者の採用について男女比率概ね 50%を目指す ・男性社員の育児休暇取得率を 2027 年度に 70%とする ・全社員の有給休暇取得率を 2027 年度に 90%とする 	16 ページ 17 ページ 18 ページ	   
そ の 他	上記K P I については千葉銀行とちばぎん総合研究所が共同し、その進捗状況について年 1 回モニタリングを行うことで、融資実行後も貸出先の伴走支援を行ってまいります。			